

第 1 回岡崎市都市計画マスタープラン住民説明会（東部地区） 議事要旨

日時	令和元年 11 月 2 日(土)10:00～11:00
場所	東部地域交流センター・むらさきかん 第 6 活動室
参加者	15 名

1 開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

2 あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

3 岡崎市都市計画マスタープラン（全体構想まで）に関する説明

4 質疑応答

質問者 1 岡崎市	・資料に医療・介護のキーワードがどこにも載っていない。 ・都市計画マスタープランでは、都市像 3 の目標 1 の説明文に教育、医療、福祉を記載している。 ・立地適正化計画でも医療、福祉分野と連携した計画づくりをしている。その計画の中で、都市機能誘導区域の誘導施設として医療、福祉施設を取り上げている。
質問者 1 岡崎市	・旧額田の地域住民は高齢者が多く、バスの停留所まで遠くて乗れないことがある。デマンドバスの整備を計画の中に入れていただきたい。 ・都市計画マスタープランでは、公共交通のカテゴリに公共交通の整備方針を記載していく。
質問者 1 岡崎市	・学識経験者の会議の中に医師会のメンバーも入れていただきたい。現在の策定委員会の委員はどのような人なのか。 ・現在の策定委員会のメンバーは、大学等から 4 名、商工部門から 1 名、農業部門から 1 名、市民代表 2 名、地域のまちづくり会から 3 名、愛知県の県庁から 1 名、西三河建設事務所から 1 名で構成されている。 ・都市計画マスタープランの上位計画である総合計画の委員会では、医師会のメンバーが入っている。
質問者 1 岡崎市	・国道 1 号の渋滞対策、地域の災害対策の面で、本宿の広域観光交流拠点の周辺にスマート IC を設置していただきたい。 ・東名高速道路のスマート IC は、今後状況を見ながら関係課も含めて検討していきたい。
質問者 1	・災害に強い岡崎東インター周辺が今後、地区の拠点になり得ると思っている。岡崎東インター周辺や既に広域観光交流拠点になっている本宿にも観光客用

	の宿泊施設を建ててほしい。 ・若者が東部地域に移り住みたい動きがあるが、市街化調整区域のため住むのをあきらめて他の地域に住む状況になっている。東部地域に住みたい人のニーズに合わせた都市計画を考えていただきたい。
岡崎市	・岡崎東インターの地域別構想については額田地域の項目に掲載していく。 ・都市計画区域に入る前の現行のマスタープランでは額田インター周辺は産業地や住居地に指定されている状況であり、この位置づけは大きく変えていくつもりはない。
質問者 1	・岡崎東インター周辺に例えば 10,000 m²の土地があつて、ほとんどの地主はその土地を売りたい状況である。このように個別のケースに関しては、地主の要望があれば対応していただけるのか。
岡崎市	・調整区域で許可できることであれば現状で許可できる。市街化区域でないといけないことは、市街化区域に編入しないとできない。市街化区域に編入するには、面積要件や事業の確実性が必要となる。市街化区域の編入は面積要件で支所周辺だと 20ha 必要になる。
質問者 1	・20ha まとまった土地がないとショッピングセンター 1 つ建てたらいけないのか。例えば、新城インター周辺にはスーパーが建っていて、岡崎東インターも同じような位置づけにしてほしい。
岡崎市	・地元の方々から岡崎東インター付近を活用したいといった声はある。しかし、市街化区域に編入できるような地元の盛り上がりには達していないと感じている。
質問者 1	・地域包括ケアシステムでは医療、介護だけでなく住まいの項目もあり、それを中学校区に整備するように厚生労働省は言っている。額田地域の人々の生活支援をどうするのかについては岡崎市のほうで決めていただきたい。
岡崎市	・本宿では組合区画整理を立ち上げて市街化区域にしようとしている。それだけの面積をまとめて市街化区域にしようすると、現実的には土地区画整理事業の手法となる。20ha の地権者の方が尽力して、市街化区域かつ土地区画整理の組合を立ち上げてやる意思があるかどうか。それについては、まだ我々のほうには伝わってきていない。
質問者 1	・熱意があれば個別に対応していただけるのか。
岡崎市	・個別の地権者には対応しない。
質問者 1	・岡崎東インターを降りて何にもない状況で 10 年待てというのは、地元は到底受け入れられないと思う。
岡崎市	・現在の都市計画マスタープランの額田の地域別構想では住宅地の色塗りがしてある。地元の方が一致団結して盛り上がっているのであれば、途中でも都市マスの見直しは可能である。
質問者 1	・災害対策、渋滞のことを考えると本宿に東名高速のスマート IC が必要だと思う。周辺道路の整備もセットでマスタープランに組み込んでいただきたい。

質問者 2	・都市計画マスタープランのなかで、岡崎市の東側（山側）の場所は土砂災害の危険地帯に指定されている。東側は土砂災害が起きる地域っていうのは認識が違うのではないか。東側の地区は土砂災害が多いから新しく施設を作るのに適していない、という風に聞こえる。
岡崎市	・土砂災害警戒区域、特別警戒区域、危険個所は愛知県によって既に指定がされている。
質問者 1	・名古屋大学の減災センターの教授が、岡崎で一番安全なのは東部だと言っている。地震に強く、津波もない、氾濫する川もない。そういう場所に拠点をつくるべきではないか。
岡崎市	・岡崎市の東側や北側では南海トラフの震度予想図で震度 5 強となっていて、他の地域より揺れない予想がされている。 ・安全かつ市街化区域に編入する基準に見合うかどうか、それには地元の盛り上がりが必要。
質問者 1	・災害対策とおっしゃるのであれば、岡崎市の西側は非常に危険であるといった観点を持ってまちづくりを進めていただきたい。
質問者 2	・土砂災害警戒区域の指定は傾斜を測っただけで、ただそれだけで危険性が高いと断定するのはひどいなと思う。地盤の性質も含めて考えていただきたい。
岡崎市	・言葉の表現については検討する。
質問者 1	・橋やコンベンションセンターを作る予算があるならば、医療、介護、土砂災害対策に予算を振り分けていただきたい。
岡崎市	・意見として承る。
質問者 3	・この前の箱根と同じ豪雨が自分のまちでも起きたとき、床上、床下浸水になる家が多く出そうだった。豪雨について非常に心配している。 ・資料を読んでいて 2 つ言葉を入れてほしいと思った。1 つ目は治山・治水。2 つ目は健康に関する言葉。
岡崎市	・ご意見を参考に、中身の検討を引き続きしていきたいと思う。

5 閉会

以上